

議会運営委員会

令和元年6月21日（金）

午前10時40分開会

○村田委員長 定刻となりましたので、議会運営委員会を開会いたします。

本日、お忙しいところお集まりいただきましたのは、前委員長の三鬼委員長が何月でしたか、委員会の中で議員定数の問題について仲委員から御発言があったと思うんですけども、それについては6月中に一つ方向性を議長と相談して決めていきたいというお言葉がありました。6月になって引き継ぎを私させていただきましたので、議長とも本格的にはお話ししておりませんが、きょう、このように議員定数の問題について開かせていただきたいということで本日の開催になりましたので、よろしくお願いを申し上げたいと思います。

前回は議員定数の検討特別委員会を立ち上げたと思うんですけども、今回、議員定数の問題について、どういう形で進めていくのかということ、まず方向性を皆さんで、皆さんの御意見をいただきながら進めていきたいと思っておりますのでよろしくお願いをいたしますが、御意見はございますか。

○小川副委員長 何で読んだか忘れたんですが、逐条解説の中で、前回削減のあったときに、もしあったらそれを前例に踏襲するというようなことが書いてあったんですけど、前回もし検討委員会をつくったならそっちの方向でやっていくとか、どこに書いてあったか、どこで読んだか覚えていないんですけど、そういうのを書いてあったことは確かです。

○村田委員長 これ、資料は、事務局、あります。

○高芝議会事務局長 御用意させていただきます。

県内各市の議員定数などの状況についてお調べさせていただいた資料を通知させていただきます。

○三鬼（和）委員 副委員長が言われたのは、本市の前例の定数のやつをどうしたかということです、全市じゃなしに。

○高芝議会事務局長 失礼しました。

ただいま小川副委員長さんが言われた行政実例だと思うんですが、県については大変申しわけないです、確認がとれておりません。

○村田委員長 前回は検討委員会を立ち上げてやらせていただいたと思うんです

けれども、これを正式な特別委員会に立ち上げるのか、検討委員会にしていくのかという方向から決めてまいりたいと思いますので、皆さんの御意見をお伺いいたしたいと思います。

まず議長から、どう、あれ、あります。

議長、これについて御意見あります。もう一遍言いましょうか。

特別委員会を正式に立ち上げるか、それから、検討委員会でやっていくのかという方向性をどちらかにお決めしたいと思うんですけど、まず、議長の御意見をお聞きしたいと思います。

○濱中議長 事務局のほうで、きのう、前回の流れがどうだったかということを確認してということをお願いしてあったものですから、その資料があるかなと思って今確認をしておりました。

前回とできれば同じような形でやっていただくのがまず最低限として必要なのかなというふうに思っているんですけども。

○村田委員長 他にございますか。

○三鬼（和）委員 この備忘録では、平成23年については、議会改革特別委員会があったので、その中の作業部会としてやられているものなんですけど、今回、議会改革特別委員会は設置されていないので、そういった形で作業部会的なものをやるのか、それとも検討委員会というか、特別委員会じゃない検討委員会、全議員でそういったのですかという考え方をもう一遍議論されるほうがいいのではないかなと思います。

○濱中議長 今、とりあえず参考までに前回の流れを事務局のほうに説明してもらっていいですか。大体何カ月ぐらい前にどういったことをやったというあたりの流れは、事務局のほうで説明していただきます。

○高芝議会事務局長 前回の平成25年の選挙の前に、平成23年9月6日に議会改革特別委員会設置に関する決議を上げていただきまして、そこで特別委員会を立ち上げまして、年明けの平成24年9月の定例会において、その際は議員定数16名から13名に減とする条例案のほうを可決していただきました。前回はそのような流れになっております。

以上でございます。

○村田委員長 事務局からこういう説明がございましたが、これについて皆さんの御意見を賜りたいと思います。

○南委員 今、局長のほうから24年の9月で条例改正したということなんです

けれども、このときの選挙の年というのは半年ぐらい前にもう決めたの。選挙はいつやったか、それだけ参考までに。

○高芝議会事務局長　選挙のほうは、平成25年の6月9日に実施されております。

以上でございます。

○村田委員長　他に御意見はございませんか。

どうでしょう。特別委員会を設置するのか、あるいは検討委員会でやっていくのか、全員参加の検討委員会でやっていくのかということになりましようが、御意見はありませんか。

○上岡委員　検討委員会か特別委員会かというのはちょっと置きまして、全員参加でお願いしたいと思います。

○村田委員長　他に御意見はございませんか。

○三鬼（和）委員　どういうあり方がいいかという具体的な発言でもいいですか。

全員参加という話もありましたので、この分についてはそれでいいんじゃないかなと思うのと、前回のときは、ほかのことも含めて議会改革特別委員会というのを設置というか、形もありましたけど、委員会を立ち上げるのか、それとも全員の検討委員会でやるのかというのを全議員に伺うというか、そういった方向で決めるというのはいかがでしょうか。

○村田委員長　この辺のところは非常に難しいところで、議会運営委員会で検討し、その後、全員協議会を開いて全員で皆さんの御意見をお伺いするということが一つ。それから、議員みずからのことでありますから、議会運営委員会でまず決めていくと、そして、全員協議会については、皆さんにこれについては議会運営委員会の結果を尊重するというような形でいくのかということなんですけども、どうなんでしょう。議会運営委員会である程度方向というのを決めて、そして全員協議会の皆さんに御報告をするということなのか、それか、あと1点の初めから、当初から全員参加で検討委員会を持つのかということなんですけど、いかがでしょうか。

○南委員　僕は、基本的には議会運営委員会で進めていただいたらええと思うんですけども、後ほど全員協議会もあるということなので、皆さんの意見を聞いた上で自分も判断をいたしたいと、そのように考えますけれども。

ただ、1点だけ、議員定数の検討委員会、名称がどういった名称になるのかわかりませんが、現時点でこれから議員定数でいこうといったら、現状あり

きじゃなしに、僕は今の尾鷲市の議会の流れからいっても、減数ありきの検討委員会になっていくんじゃないかと思うんです。その一つの大きな理由というのは、昨年からはじめた一常任委員会制度というのが、まさにそれが一つの大きな要因になって、以前、僕は、議員をもっと減らせ、市民から声がありましたけれども、三つの常任委員会を維持していく上においては、どうしても今の13名というのが必要な定数なので、これは今のところ、仕組みの中では堅持しなければいけないということを市民に対しても何回ともお話をしておる現状がありますので、恐らく現時点の方向でいったら削減ありきの委員会になるんじゃないかなというような思いがしておりますし、そこら辺のところは一体どの方向って、大事な問題ですので、明確にした上で検討委員会にするなり議会でするなりということをおある程度決めていただいたほうが入りやすいんじゃないかなというような思いがしております。個人的な意見です。

○村田委員長　　ありがとうございます。

南委員の御意見、今ございましたけれども、それも一つありかなという感じがいたしますけれども、議員定数の検討委員会とする限りは、実際には増というのはあり得んとは思うんですが、一応、検討委員会ということになれば、増あり、減ありということが入っていかねばならないのかなとは思いますが、初めから減ありきで入っていくというのはいかがなものであろうかと思っておりますけれども、形上、現実からすると南委員のおっしゃるように、もう増というのはあり得んと思っておりますけれど、その辺はいかがでしょうか、減ありきでいきますか、皆さん。

○三鬼（和）委員　　減ありきどうこうという検討は、減ありきでも減じゃなかったという結論が出る可能性もあるわけですからあれなんですけど、スタートは議会運営委員会で作業部会とするのであっても、全員でするのであっても、半年なり、現実の検証というんですか、それにたっぷり時間をかけた上で増なのか減なのかという議論をしていくというのか、それも必要じゃないかなと思っておりますので、いきなりこうこうだから減らす、こうこうだから減らさないという議論をしても、じゃ、今までは違っていたのかどうかということも大きな問題ですので、そういったことには時間をかけてほしいなと。

○村田委員長　　もちろん議員定数というのは、増にしても減にしても、それは簡単に決まるものじゃありませんから、ですから1年半、今6月ですから2年後の改選に当たって決めていくわけですから、2年間の猶予というのがありますから、最低でも1年半はありますからね。その点で、まず議会でそういうことを出発すると、

その中で、1年半の中で市民の御意見を募ったり、さまざまな形で御意見をお聞きするということで進めていきたいなと思うんですが、いかがでしょうかね。

他に御意見はございませんか。

奥田副議長、えらい難しい顔をしていますけど、何かありませんか。

○奥田副議長　私もこれは、今の財政状況とかいろんな市民の方々の厳しい意見を考えますと、去年、一常任委員会を私も賛成しましたけど、これはいたし方ないと思いますので、議員定数の議論というのはしっかりした上で、南委員が言われたように、当然、議員定数削減ありきという議論になっていくんだと思いますけれども、しっかりした議論をして市民の方とも、市民懇談会とかもやられるんでしょう。

○村田委員長　そのつもりでおります。

高村委員、どうでしょう。検討委員会をつくるということですね。

○高村委員　私も皆さんで話をして、1年ぐらいかけて話してもらって、最低半年前までには結論を出す方向でやってもらったらいと思います。

○村田委員長　わかりました。委員の特別なお考えというのはないんですね、今のところ。

上岡委員、改めていかがでしょうか。

○上岡委員　人口減少もあるんですけど、情報化社会ですので、いろんな情報、かなり皆さん、判断ができると思いますので、なるべくであれば今の議員定数を私は減という形で進めていただきたいと、これは全員参加が基本です。よろしく願います。

○三鬼（孝）委員　検討委員会で進めていただいて、現状よりふやすということはありませんことだで、現状維持か減数がということになれば、南委員も今言ったように市の財政状況等や人口の減少を考えたら、当然それは減の方向で議論が進むんじゃないかなと思いますので、検討委員会でやっていただいたら結構かと思います。

○小川副委員長　今、検討委員会ということが出ましたけど、検討委員会を開いていただきまして、あとは、いつ結論を出すかというのを先に議運で決めておいたほうがいいんじゃないですか。それによってスケジュールが決まってくるんじゃないかと思うんですけど、いつまでに結論を出すか決めたほうがいいんじゃないですか。

○村田委員長　基本的には半年ぐらまで、新しく出馬をされる方もいらっしゃるから、半年ですね。改選の半年前ぐらまでには結論を出したいと思っておるんですが。

○三鬼（和）委員　　前回の経験もありますので全体的なあれなんですけど、中身については検討委員会をつくって議論しようかというところですので、今回はそういう相対的なものを踏まえた上で、議会運営委員会を作業部会みたいな形でして全協という形を使うのか、それとも初めから検討委員会というのを立ち上げて、今議論が出ておったことを全部消化してやるのかという、今回は、きょうの全協が行われるまでにそっちのほうを議会運営委員会で方向性を示されるほうがいいのではないかなと思うんですね。

○村田委員長　　ですから、先ほどから特別委員会をつくるのか、検討委員会でやるのかということをお伺いしておりますので、ここで決めて全協でお話をするということなんですが、今お話を聞いておりますと、特別委員会というよりも全員参加でということでありますので、これは検討委員会という名目のもとに全員参加で、作業部会ではないんですけれども、やっていくということを進めていきたいと思っておりますけれども、皆さん、御異議ございませんか。

議長、何かあります。

○濱中議長　　今話を聞いておると、市民からの意見聴取も重要なことであるというようなあたりも出ましたので、市民の意見聴取を聞くまでの段取りの段階ですよ、今。検討委員会に行くまでには議運で、その方向性を決めるまでは議運でやるという話じゃなかったですか。

（「どういう検討（聴取不能）」と呼ぶ者あり）

○濱中議長　　わかりました。了解です。

○村田委員長　　よろしいですか。

じゃ、検討委員会ということで全員参加でということをやりたいと思います。

ただ、議会運営委員会というものはあるものですから、このところのポイントは押さえなきゃいかんというような重要な点については、まず議会運営委員会を開かせていただいて決定をして、それから皆さんにお諮りをすると、そういう形でもっていきたいと思いますので、よろしく願いいたします。

本日のところはこの方向性だけを決めていただいて、きょう、全協で御報告を申し上げます。

○小川副委員長　　しつこいようですけど、はっきりと何月定例議会までに決めるということをここで決めておいたほうがいいんじゃないですか。曖昧で……。

（「検討委員会の中で決めるんやん。それで決まらなんだら議会（聴取不能）」と呼ぶ者あり）

○村田委員長　　ですから、基本的には改選の半年前といいますから、あれは6月
やから、前年の12月までというところかな。前年の12月議会までできちっと決
めていくということによろしいですか。

○奥田副議長　　その検討委員会を設置するということですけど、それはいつ設置
されるというのは決めなくていいんですか、きょうはもう方向性だけで。

○村田委員長　　きょうはまず皆さんにお諮りをして、次に正副議長、正副委員長
で話をさせていただいて、次の議会からやりますかというようなことで決めていき
たいと思いますので、よろしくお願いします。

他にございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○村田委員長　　それでは、議会運営委員会を閉じます。

(午前11時00分 閉会)